

No. 10

Apr. 2016

あ はすべての原点。そ 阿蘇生。  
阿蘇は原点に戻るべき場所。  
素顔の阿蘇に魅力。  
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。



# 大陸

ASO Continent

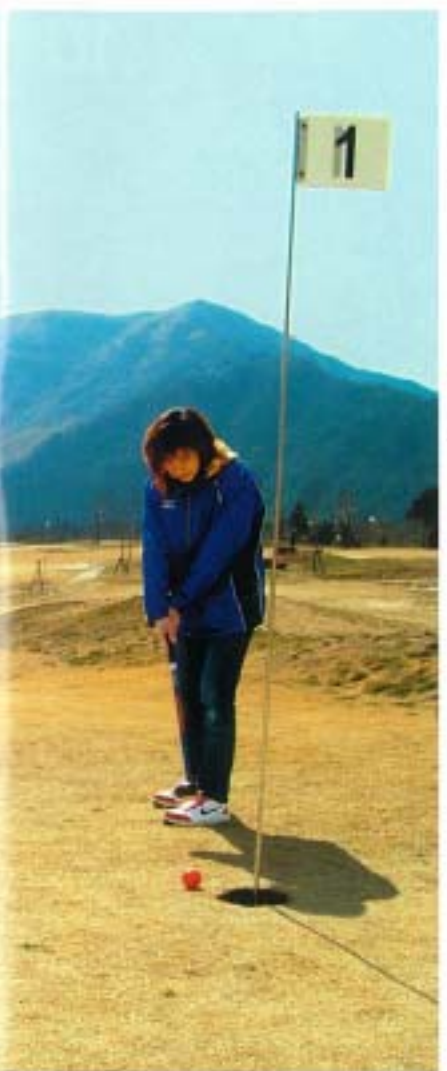
# 風わたり、水うつまわれる、 新生“南阿蘇村”

2月13日、長陽村、白水村、久木野村の3村が合併し、南阿蘇村が誕生した。ひとつになって楽しみ方も多彩になったこの村をあるいた。



長陽で、自然やアートとあそぶ時間

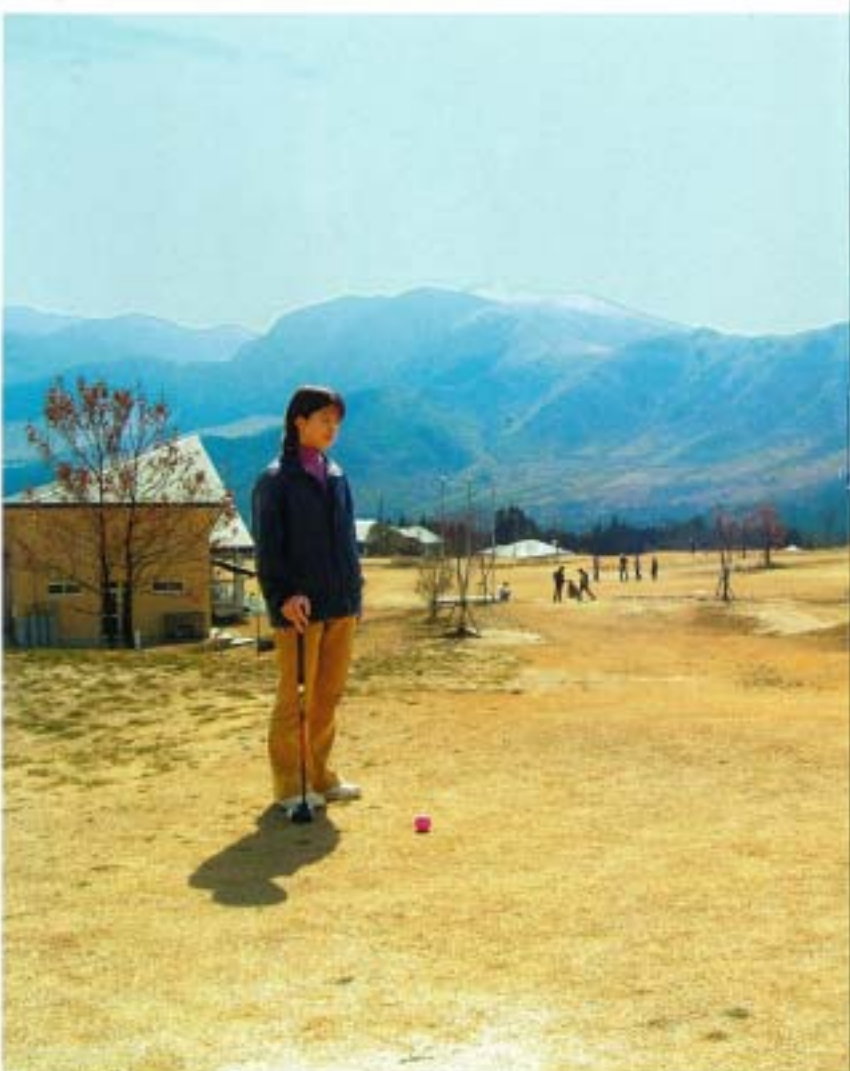
アートもスポーツも、  
阿蘇の自然によく似合う



道に隠れる美術と小鳥のさえずりをBGMにのんびりした時間が流れる絵本の小道。その心機よさに、もぐらやイノシシなどもよく顔を出す

赤水から中岳へ向かう阿蘇登山道路。その途中の丘の中腹にひっそりと佇むクリーム色の建物「葉祥明阿蘇高原絵本美術館」。この場所に美術館を建てたのは、幼少期に度々訪れた阿蘇の環境保全と子どもたちの情操教育への思いからと語る

のは葉祥明さんの弟であり、同館理事長の葉山祥雄さん。展示室から庭へと続く扉を開けると、目の前に広がるのはまさに、葉祥明の絵の世界。2万坪の庭には、けもの道のような絵本の小道があり、その先にポツンとベンチが。実際に腰を下ろすとさ



ながら絵本のなかにいるような気分になさなくてはならない。ゆるやかに流れる時間をかみしめながらすぐそばの「風の丘阿蘇大野藤彦美術館」へ。そこは有明海雲仙曹賢悟を一望できる絶景ポイント。館内には水墨画や絵手紙風の詩画が並ぶ。たぐさんの思いが詰まった作品を前に立ち止まり、時を忘れて見入ってしまう。儼くだけの人生だった私は事故で両手を失い、周囲の人々の温かさと感謝の気持ちに気づいた。今はそれが生きる喜びだと感じます」と大野さん。作品の解説をしないのは見る人自身が感じることを大切にしてほしいという思いから、見晴らしのよい庭辺に腰かけると、心が洗われるような気分になる。

すっかり心を潤したあとは「長陽パークゴルフ場」へ。クラブ一本とボール1個でできるというシンプルさから人気のパークゴルフ。この日もお年寄りや家族連れ、学生などがプレーを楽しんでいた。初心者でもという言葉にひかれ挑戦してみると、なるほど簡単でもおもしろい。人数制限なくできるというところもまた魅力的だ。ふと見上げると青空にすーっと伸びる飛行機雲。普段の生活のなかで忘れていた何かを呼び起こす。地元の人々の話では、冬でもここまではチェーンなしで来ることができるといふ。これは、誰もが気軽に訪れることができる、心のリセット空間なのだ。



カフェやギャラリーを併設した葉祥明美術館。展示室にはソファや本棚があり、絵本を手にとり、中つたりとその世界観に浸ることのできる空間となっている



高台から望む夕陽はまさに絶景。思い思いの時間を過ごすことができる広々とした公園もあり、朝早くから訪れるペンションの宿泊客も多い





池の川水邊で、「阿蘇たにびと博物館」館長の  
梶原さんにお話をうかがう。手前にある2つの  
岩が究(かぶと)岩



正教寺境内にある寺泉水源。地元の人  
が野菜を洗いにやって来る



湧沢水源の横にある道しるべ。明治  
時代、地元高森出身の石工・甲斐有雄が  
私財を投じて阿蘇の各所に設置した。  
この道しるべの数が、阿蘇に約1800  
もあるというから驚きた。他にも歩き  
ながらいくつか見かけた



深いブルーの水が神秘的な空気を醸し出す  
塩井社水源。塩井社神社の境内にあり、ひんやり  
とした空気が心地良い

な印象だ。「この水源から流れ出す川は、南阿蘇で唯一、西から東に流れています。通常は高森から熊本市内方面に流れますが、珍しい高台にあるからでしょうね。」  
今回は白水の中松地区を中心に選んだが、「これ以外にも、白水には、民家の軒先など水が湧く場所がたくさんあるんですよ。時間のある方には、ご案内しています」と梶原さん。水道が引いてあるにもかかわらず、今も生活用水として大切に使われている水源。水の味といっしょに、水源を守り続ける地元の人々への感謝の気持ちも忘れないうちにしたい。



# 白水の水源巡り こんこんと湧く水の里に、 花の季節の足音がきこえる

水が生まれる里、白水。今回は「阿蘇たにびと博物館」館長で、学芸員の梶原宏之さんに、南阿蘇村白水の水源を案内してもらった。「阿蘇谷に水源が多いのは、雨水が染み込みやすい火山灰地だからなんです」と。

最初に、池の川水源に向かう。水源の真横を広い道路が通り、駐車場も整備されている。熊本市内から来たという老夫婦が「ずらりとポリタンクを並べて水を汲んでいた。近所に配る分もあるとですよ。ここは水が美味しいのはもちろん、道が広くて駐車場が近いから、半寄りにありがたいねえ。美しい水溜りが揺らめくこの水源には、兜(かぶと)石と呼ばれる岩が2つあり、昔はこの石で農作物の作況を占ったという。「普通、水が少なかったら不作と思うでしょ。でも逆で、更石が隠れるくらい水位が高かったら不作、低く



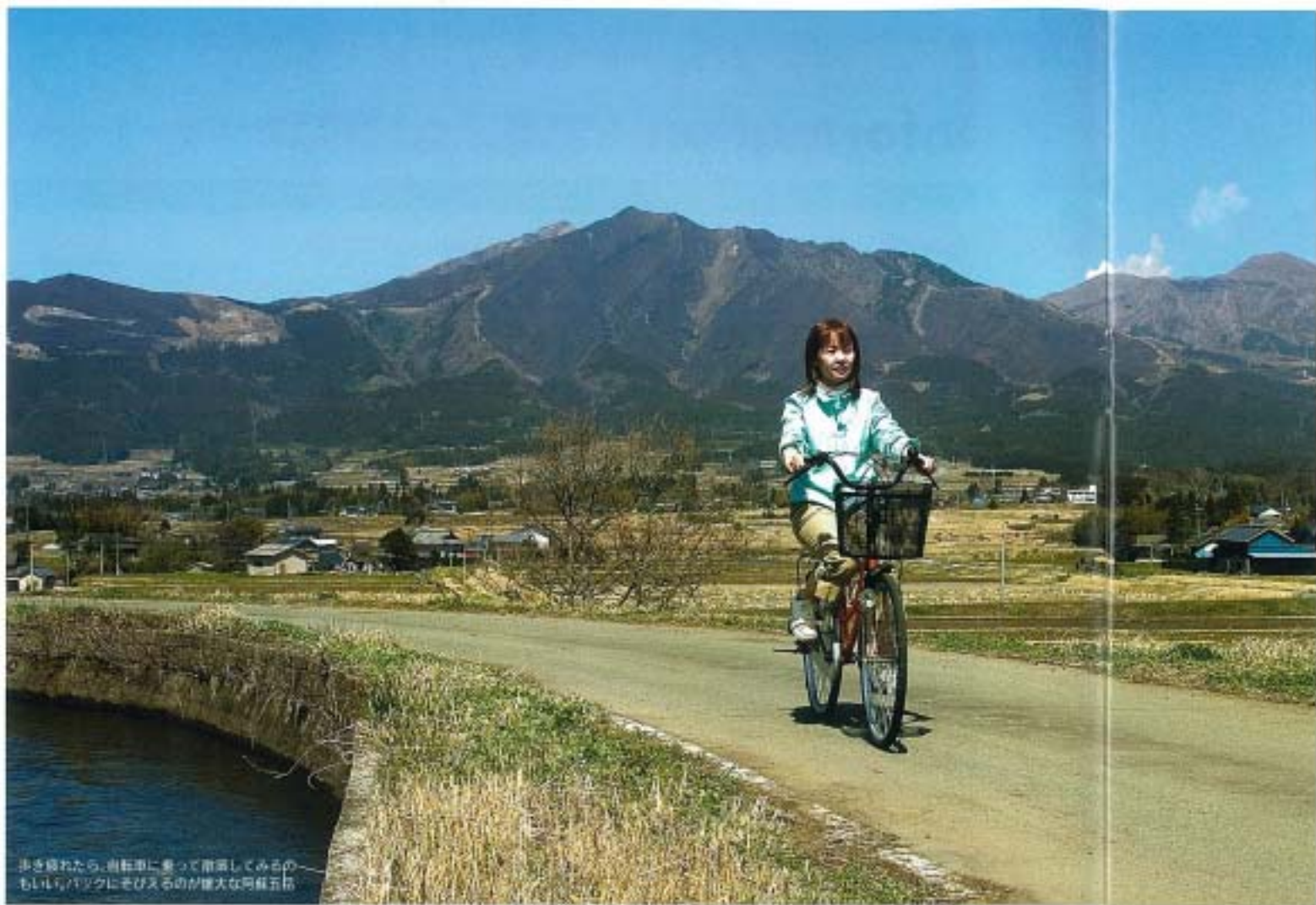
つたら豊作なんです。水が豊富な地域ならではの、  
次に向かったのが、湧沢水源。よく見ると、砂を洗い上げながら「こんこん」と静かに湧いている。水の柔らかなさは白水一だという。  
ここから塩井社水源へ。途中の畦道には、阿蘇五岳を背に菜の花やれんげ草が咲き、阿蘇の春を実感する。塩井社水源は、塩井社という小さな社の境内にあった。うっそうとした大木に囲まれ、深いブルーの水をたたえた水源は、どことなく神秘的

風わたり、水うまれる、  
新生「南阿蘇村」



久木野でのんびりサイクリング

# 雄大な五岳の眺めのなかに 新しく息づく、くくくひろぎラスポットがある



歩き疲れたら、自転車でゆっくり散歩してみるのもいい。パワックにそびえるのが雄大な阿蘇五岳



「ボンジュール・プロヴァンス」から見た景色。阿蘇五岳と南郷谷の田舎風景が一望できる。オーナーの田中啓子さんは、プロヴァンスとそっくりなこの眺めに一目惚れして、この地に移り住んだ



「ボンジュール・プロヴァンス」の裏手にそそり立つ奇岩・怪石が所。周辺には、恐々洞や霧凧など異趣地が多い

霧凧岩の中間にある十六羅漢。数百年前、国内に霧凧信仰が広まった際に、霧凧時とともにつくられたといわれる。宝永4(1707)年、荒廃していた霧凧窟に心を痛めた庄屋佐藤重之助が中心となり、それまで水仏だったのを石仏に改めて奉納した。石仏本尊は、肥前の有名な仏師・平川与四右衛門重隆の作

物産館「あそ達の郷くまの」と「久木野温泉木の香湯」でも借りることができる。変わらない五岳の眺めの中で、少しずつ新しく生まれたいくもの、発見できるものがある、それが久木野の魅力だ。



南阿蘇トンネルを抜けると、そこが久木野。カフェギャラリーに窯元、フランス菓子店……。新しいスポットが次々に登場している。最初に向かったのは、南阿蘇プロヴァンスの美意識の店「ボンジュール・プロヴァンス」。おとぎ話から出てきたような平屋の白い建物に、季節ごとの花や緑が迎えてくれる庭。そして、阿蘇五岳と南郷谷を望む雄大な景色。熊本市内で、主人の徳也さんと3人の子ともとともに暮らす主婦だった田中啓子さんは、地中海の田舎暮らしに憧れ続け、プロヴァンスの風景とよく似たこの地で暮らしを実現させた。なるほど、ここは、憧れたいくようなロケーションだ。

ここで味わえるのは、阿蘇のあか牛のすね肉を赤ワインで煮込んだ「ドゥ・プロヴァンサル」など、プロヴァンスの代表的な家庭料理を啓子直にアレンジしたもの。ゆったりと阿蘇の恵みを味わった後は、木漏れ日が降り注ぐクスギ林を通り抜け、羅漢岩の中間にある十六羅漢へ。階段状の山道を登ると約10分。岩肌をえぐって作られた大きな洞の前に辿り着く。中に安置されている十六体の石仏は、全て表情やしくきが異なり、見ていると面白い。数メートル先に、東側の景色を一望できる展望台を発見。ぼんやりと南阿蘇の景色を眺めていると、登りの疲れも吹っ飛んでしまった。山を下り、30分も歩くと体験交流センター「四季の森へ。」ここでは、自転車を借りてサイクリングができる。田園風景の中、阿蘇五岳を眺めながら、誰もいない小道をゆつくりと歩くと、南阿蘇の風景を独り占めしているような気分だ。自転車は、

風わたり、水うまれる、  
新生「南阿蘇村」



# ASO Design Center Information

(財)阿蘇地域振興デザインセンターは阿蘇地域の地域づくり、観光振興、環境・景観保全、情報発信を行っています。

## イベント情報 特集:春の阿蘇ははなざかり

### 仙酔峡つつじ祭り

仙酔峡一帯に広がる、約5万株のミヤマキリシマが咲き誇ります。期間中はさまざまなイベントが開催され、便利な専用シャトルバス(5/14,15,21,22のみ)も運行予定です。  
期日●平成17年5月7日～8月5日  
場所●仙酔峡  
お問い合わせ●阿蘇市まちづくり商工観光課  
TEL:0967-22-3111



### 阿蘇山上つつじ祭り

草千里周辺や中岳火口周辺に群生する30万株のミヤマキリシマが満開となり、阿蘇に初夏の訪れを告げます。スピード抽選などが行われます。  
期日●5月14日～8月5日  
場所●阿蘇山上  
お問い合わせ●阿蘇インフォメーションセンター  
TEL:0967-32-1960

### すずらん祭り

日本最南限のすずらん自生地としても有名な波野村で、今年も「すずらん祭り」が開催されます。神楽の公演や自然観察会(予定)など、自然と文化を堪能できます。  
期日●平成17年5月15日  
場所●すずらん自生地  
お問い合わせ●阿蘇市まちづくり商工観光課  
TEL:0967-22-3111



### 阿蘇いこいの村のアジサイ祭り

紫や青ピンクなど色とりどりのアジサイ約5,000株が見るものを魅了します。アジサイ祭り期間中は施設内の庭園が無料開放され、この時期にしか入れないアジサイの温泉も予定されています。  
期日●平成17年8月中旬～(予定)  
場所●阿蘇いこいの村  
お問い合わせ●阿蘇いこいの村  
TEL:0967-34-2151



### 第9回ヒゴタイ公園写真コンテスト

花公園内で産山の大自然を題材とした写真コンテストが行われます。入賞者には宿泊券や産山の特産品が贈られます。  
期日●平成17年8月～9月(予定)  
場所●ヒゴタイ公園  
お問い合わせ●花の温泉館  
TEL:0967-25-2341



平成16年のコンテスト応募作品

### 出会いinたわらやま「俵山登山」

「人に出会い、自然に出会い、癒しに出会う」をテーマに、およそ500人が俵山に集います。頂を目指す山頂コースと、麓周辺のファミリーコースで開催されます。  
期日●平成17年4月29日 ※雨天時は30日に延期  
場所●俵山交流館 朝の里集合 AM8:30～受付開始予定  
お問い合わせ●西原村役場 総務課  
TEL:096-279-3111  
申し込み期日●4月27日 17時まで

